

第1回 たつの市行財政改革推進委員会会議録概要

日 時 平成19年9月21日（金）
午後1時30分から3時まで
場 所 たつの市役所 3階 第2委員会室

1 出席者委員

谷口 勝昭委員	山下 成和委員	岸 實委員	竹本 美好委員
高藤 圓委員	横田 勉委員	高田 俊夫委員	堀本 和義委員
江尻 祥子委員	川崎 洋文委員		

2 事務局出席者

松尾副市長	
今江 伸行政改革推進室長	上田 貞美行政改革推進室次長
菅原 昌則行政改革推進室室長補佐	横田 政人行政改革推進室副主幹
出田 好樹行政改革推進室主査	

3 協議内容

(1) 市長あいさつ（代 松尾副市長）

(2) 委嘱状の交付

(3) 委員紹介

(4) 事務局紹介

(5) 議 事

① たつの市行財政改革推進委員会について

- ・委員会の位置付け・役割について事務局から説明。
- ・委員会、会議録を公開することについて→異議なし。

② 会長及び副会長の互選について

会 長 : 岸 實委員（たつの市連合自治会理事）
副会長 : 竹本美好委員（たつの市連合婦人会会長）

③ 集中改革プランの実施状況について

（委 員） たつの市の市税の徴収率は、他市と比較してどうなのか。また、税制改正により、収納率は悪化するのではないか。

(事務局) 本市の収納状況は、他市と比較すると、あまり高いほうではない。国の税制改正により、地方への税源移譲や定率減税が廃止され、市税等に対する負担が増している。このことにより、収納率が低下するとのこと指摘であるが、収納率の向上に関しては、職員を増員し、税務課あげて取り組んでいる。

(委員) 職員数の見直しについて、23人減員の内訳はどうなっているのか。また、臨時職員についても、どんどん削減していくべきなのではないか。正規職員を減らして、臨時職員を増やすようでは意味がない。

(事務局) 正規職員に関しては、退職勧奨や定年退職後の補充抑制により減少している。削減数は、予定よりも4人多くなっている。また、臨時職員についても削減したが、本年度は、学童保育事業の関係で増員された格好となっている。

(委員) 臨時職員採用にあたって、口聞き等があるのか。

(事務局) 採用については、登録制になっているので、そういった手順ではない。

(委員) 下水道の水洗化率について、各家庭における宅内接続工事をしていない家庭がまだまだ多いのではないかと。今回2.6%という数字の伸び率は、かなり高い数字ではないのか。

(事務局) 公共下水道だけではなく、集落排水、コミュニティプラントも含めた数字なので、この数字となっている。水洗化率を上げていかないとハード事業に投資した分の回収が出来ないし、維持管理に必要な使用料も見込めない。今後も水洗化率の向上に努めていきたい。

(委員) 水道料金の徴収方法について、婦人会が徴収場合と、担当課が口座振替で徴収場合とでは、どちらが効率的なのか。

(事務局) それぞれ、地域によって事情が違うと思う。一概には言えない。

(委員) 指定管理者制度を導入しているにも関わらず、縮減額が少額なのはなぜか。

(事務局) 現在導入している施設は、従前から指定管理者制度と同等の委託制度で運営してきた施設が中心となっている。こういった状況では、中々効果が出てこない。今後はもっと縮減効果額を求めていきたい。

(委員) 時差出勤の中身はどういったものか。

(事務局) 窓口時間延長に伴う早番遅番出勤や消防の勤務体制見直しである。従前は夜勤明けで、そのまま引き続いて行事等に従事していたのを見直している。勤務体制の見直しにより金額について効果が出ている。

- (委員) 指定管理者制度の目的とは何か。
- (事務局) 官から民への流れによる法改正の下で、従前の委託方式から、公共施設の管理運営について、民間企業も含めた方式で運営しているとする制度。職員数の削減とワンセットの面がある。指定管理者の裁量も大きくなるので利便性が上がる場合もある。
- (委員) これだけの効果額をあげていることには、感心している。
- (事務局) 職員一丸となって取り組んでいる。今後はより一層頑張っていきたい。
- (委員) 時間外手当は、職員一律の額なのか。どういった算定方法となるのか。サービス残業はどうなっているのか。
- (事務局) 条例に基づき、労働基準法に定める基準と同様の支給割合で算定して支給している。残業については、どうしても業務多忙の場合は時間外勤務手当で対応している。休日等にイベントなどで出勤する場合は、振替休日に対応している。